

第 168 回「J. I. フォーラム」これからの日本の政治について語ろう



日 時：平成 23 年 8 月 24 日 18：30～

会 場：日本財団ビル 2 階 大会議室

討論者：衆議院議員 石破 茂

衆議院議員 わたなべ周

(前原誠司氏急遽欠席の為)

コーディネーター：加藤秀樹 構想日本代表

報告者：愛知県議会議員 鈴木 純

開催前に、定員の 200 名オーバーとなり申し込み受け付けが終了した話題の 2 人による討論の予定が、前原氏代表選出馬のため、心配した通り欠席で、わたなべ修氏が代役を務めることに。

加藤代表の最初の切り出しは、総理が短命で変わってしまうことについて、政治家の個人の問題だけではなく、**政治の劣化**という言葉を使うなら、国民全体の責任と考えているとの発言がある。メディアの責任もあるが政治家の側からもっと強く国民に問いかけるべきとの言葉だ。

<総理が、大臣がころころ変わる>

- ・ I (石破) ①大統領制ではない日本では総理大臣を選べるのは衆議院だけ、それを選ぶことのできる衆議院の②**解散権が国民にない**。しかし、③参議院が強すぎる…総理大臣の指名と予算と条約だけ、法律は参議院を通らないと成立しない(衆議院に戻して 2/3 は例外)、衆参の選挙が似ている、3(6)年間参院の解散はない。政治家の仕事は、勇気と真心を持って“真実”を語ること…by 渡辺美智雄?好かれようと思はないが共感してもらうための努力はする。政策をやるために議員になる、大臣になる、総理になる。自分が為政者であることを思い票を投じるのが主権者(有権者)、やらせてみてダメだったは許されない段階に日本は入っている…この程度の国民にこの程度の政治家。
- ・ W (わたなべ) 55 年体制を終わらせる…政策では政権は取れないスキャンダルで政権を終わらせる…爆弾男、利益配分。湾岸戦争世代…国が何もできない。新党乱立? なってから何をするか。

<エゴイスティックなフランス人がストには寛容・・・>

- ・ I 国会議員がやる仕事は橋を作ることではない、会費 500 円は頂くもの…。有権者を信じないでどうする。政治家が有権者の中に入らないでどうする。
- ・ W 天下り団体

<消費税…無駄を斬るまでは上げるのではなくて…**政治の強さ**が必要ではないか>

- ・W 無駄を、不必要な負担を…
- ・I 全ての人納得することはあり得ない、ある人(地域)にとって必要なものは他の人(地域)にとって無駄。無駄がなくなるまで税金を上げませんでは国が潰れる、今は消費税を上げる段階、優先順位の問題。消費税だけを取り出すのではなく、直間比率をどうするのか、課税対象をどうするのかを考えることが重要で、いきなり増税がどうかではない。相続税5%でいいのか(相続を受ける側の平均年齢は67歳の年金生活者)、給与所得者の1/3が所得税を払えないとは、中小企業の2/3が法人税を払えない(払わない)状況とは…**今の産業構造、人口構造、国際情勢に一番ふさわしい税体系**は何なのか。GDPを上げるためには…900兆の借金を返すために消費税50%?…労働者の数と設備投資の額と教育の水準。
- ・W 日本人を幸せにしない日本のシステム。国民に申し訳ない…。

<優先順位…役所がつけるのではなく、政権が変われば変わるはず>

- ・I 経済が伸びている時と今は違う…伸びていけば、税金は負けます、医療費はただです、道路は造りますの昭和30、40年代。民主党の2年間はどうやって経済を伸ばしていくかではなく、どうばらまいていくかしか考えなかったと断じざるを得ない。経済のパイを何としても大きくしていかなければ国が経営破綻してしまう、医療も介護も年金もなくなってしまふ—今の日本の国はお金はあるけど景気が悪い状況…1400兆円の個人資産の6割が60歳以上、2割は50台が持っている。若者に資産を移転、定年70歳まで上げて、高齢者マーケット、高齢者コミュニティ、**ストーリーで語る**ことが出来なければ政治家でない。
- ・W 少子化対策は重要、高校無償化はばらまきではない…経済的事由での退学が2.9%から1.9%に減。介護は嫁の問題?社会制度として確立しなければどうにもならない。しつけは家庭の問題?社会でのサポートが必要。インドネシアとベトナム(人口1億人を超える)の親日的な国に水ビジネスを(いやしさが無い、見返りを求めないお天道様が見ている日本)。日本の質が違う農業の展開。

<議員内閣制、解散権、二院制、**政党法**…アメリカ(州)、イギリス、ドイツ、韓国皆ある、1000億円以上の政党助成法と非課税の寄付を集める…国家がしっかりするには政党や政治家がしっかりしなければならない>

- ・I 細川内閣で小選挙区制を導入するに当たっては、国会議員が地元のことに口を出さない、政党同士の手柄の取り合い、地方の発展は国会の仕事にあらざ…地方分権を推進すること。政党法…権利を享受するには義務を果たさなければならない、幹部だけではだめだし、役員の決め方、経理の透明性、会社でいえば定款。理念のある政界再編を議論した。